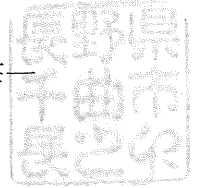


令和 5 年 3 月 1 日

千曲市農業委員会 様

千曲市長 小川 修一



千曲市農地等利用最適化推進施策に関する意見書について（回答）

日頃から市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、令和 4 年 12 月 19 日付で要望のありました事項について、下記のとおり
ご回答申し上げます。

記

1. 担い手への農地利用の集積・集約化について

- (1) 多面的機能支払交付金制度に関しましては、本年度 12 月議会一般質問でもお答えしておりますが、今年度、該当する区・自治会・改良区関係団体向けに説明会を実施したところです。今後におきましても要望があれば個別に説明会等を実施し、制度が広く浸透するよう努めてまいります。
- (2) 新たな地域計画（人・農地プラン）策定を、貴委員会とともに進め、担い手への集積・集約化を図ってまいります。
- (3) 目標地図の素案の取組を支援してまいります。

2. 耕作放棄地の発生防止・解消について

- (1) 耕作放棄地解消のための補助は、現在、上限 20 万円ですが、今後更なる解消に向け、上限額の拡大を検討してまいります。
- (2) ワインぶどう振興については、トレリスの設置に補助金を出すなど、通常のぶどうよりも手厚い補助をしております。来年度にはワイナリーが 2 つになる予定で、千曲市産ワインを一層推進するため、ワインぶどう生産振興に努め、遊休農地の解消を進めてまいります。
- (3) 必要な予算を要求してまいります。

3. 新規参入の促進について

- (1) 情報発信並びに販売支援に努めてまいります。
- (2) 屋代南高校とはあんずの栽培や加工について、交流の場を設けております。更級農業高校については、交流の場を設けるよう検討してまいります。

(3) 県支援センター、JA及び市によるサポート体制があることから、必要に応じて支援してまいります。

4. 農業振興施策について

- (1) 現在も継続的に支援を実施しているところですが、今後も周知・相談・支援を丁寧に行ってまいります。
- (2) 認定農業者等の中心的な担い手には、国や県の補助制度の情報を提供するなどし、経営の維持や拡大を支援してまいります。
- (3) 最先端の技術の情報収集に努めるとともに、それら技術やスマート農業導入に使える国や県の補助制度などの情報提供に努めてまいります。
- (4) 市報への掲載等で人員の確保に努めてまいります。交通費の支給については、農家の負担が多くなることから、まずは農家の理解に努めます。
- (5) 多面的機能支払交付金制度の普及を促進し、耕作放棄地の抑制・解消に努めるとともに、庁内他部署とも連携して対応してまいります。
- (6) 営農継続に向けて、国、県、市それぞれの支援制度の推進に努めます。

経済部 農林課 生産振興係
(課長) 塚田 (担当) 宮澤
TEL : 026-273-1111 (内線 : 3284)
FAX : 026-273-1921
Mail : nousin@city.chikuma.lg.jp

総務部 秘書広報課 秘書係
(課長) 宮尾 (担当) 下平
TEL : 026-273-1111 (内線 : 4201)
FAX : 026-273-1001
Mail : hisho-koho@city.chikuma.lg.jp